

# 温暖化

STOP

〜今私たちにできること〜

G8の行われた洞爺湖  
(提供：洞爺湖温泉観光協会)

去る7月7日〜9日の3日間、北海道洞爺湖において、先進国首脳会議(G8)が行われ、「環境・気候変動」というテーマの中で、「2050年までに世界全体の温室効果ガス排出量を少なくとも現状から50%削減する」との目標を、世界全体の目標として採択することを求める声明が発表されました。

このことからわかるように、地球温暖化問題は、世界的な問題として議論されるほどに切実なものとなっているのです。

この温暖化問題については、昨年の広報いな8月号でも取り上げ、温暖化の進む地球の現状を写真で紹介しました。

伊奈町においても、平成15年度に、「いなまち地球温暖化防止実行計画」を策定し、伊奈町役場本庁舎および出先機関において排出される温室効果ガスを、平成14年度の数値を基準として、平成20年度までに3%削減することを目標に掲げ、その排出量を減らすよう努力を続けていますが、思ったような結果が出ていないのが実状です。

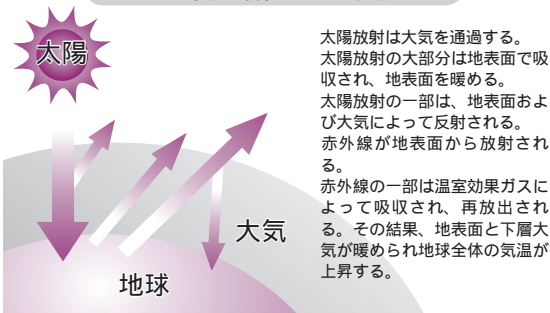
今回の特集では温暖化を防ぐために、私たちが今できる

こととして何があるのか、また何をすべきかを探っていきます。

## 温室効果ガスとは？

大気圏にあって、地表から放射された赤外線の一部を吸収することにより、温室効果をもたらす気体の総称をいいます。主に水蒸気(H<sub>2</sub>O)や二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)、メタン(CH<sub>4</sub>)など人間の日常生活や、事業活動に伴って発生するものが該当します。特にメタンは、二酸化炭素の21倍もの温室効果があるといわれており、これらのガスには、太陽からの熱を地球に封じ込め、地表を暖める働きがあります。(イラスト参照)

## 地球温暖化のしくみ



## 町の現状は？

今回、左ページの表1で示した役場庁舎等から排出された温室効果ガス量は、基準年度(平成14年度)に比べ、9.75%の増加となりました。また表2と円グラフは、町クリーンセンターにおいて「可燃ごみ」として焼却されたごみにかかわる温室効果ガスの発生状況を示したものです。

表2を見ると、一般廃棄物焼却量のうち、「ビニール・合成樹脂類」の焼却による温室効果ガスの占める割合が高いことがわかります。これは本来、不燃ごみやプラスチック製包装容器として出されるはずのものが可燃ごみに混入し、焼却されたことにより、熱量が膨大になり、ガスの発生量が増加したものと考えられます。

このようにプラスチック類の焼却は、地球温暖化の原因となる二酸化炭素を大量に排出します。



(表1) 役場庁舎・各施設から排出された温室効果ガスの量

(単位: kg-CO<sub>2</sub>)

調査項目	排出される温室効果ガス	基準年度 平成14年度	平成19年度	基準年度比	
電気使用量	CO <sub>2</sub>	1,356,301	1,559,462	14.98%	
燃料使用料	ガソリン	CO <sub>2</sub>	65,058	69,670	7.09%
	灯油	CO <sub>2</sub>	83,434	66,512	-20.28%
	軽油	CO <sub>2</sub>	20,684	14,702	-28.92%
	A重油	CO <sub>2</sub>	404,871	412,905	1.98%
	LPG	CO <sub>2</sub>	37,139	36,727	-1.11%
公用車の走行量	CH <sub>4</sub> N <sub>2</sub> O	1,958	2,012	2.76%	
カーエアコンの使用	HFC	5,278	5,187	-1.72%	
温室効果ガス排出量(CO <sub>2</sub> 換算)		1,974,722	2,167,178	9.75%	

CO<sub>2</sub>: 二酸化炭素 CH<sub>4</sub>: メタン N<sub>2</sub>O: 一酸化二窒素 HFC: ハイドロフルオロカーボン  
 単位未満の端数については、四捨五入を原則としました。従って総数と内訳が一致しない場合もあります。

(表2) クリーンセンター(町全体のごみ焼却)から排出された温室効果ガスの量

(単位: kg-CO<sub>2</sub>)

調査項目	排出される温室効果ガス	基準年度 平成14年度	平成19年度	基準年度比	
電気使用量	CO <sub>2</sub>	775,064	928,014	19.73%	
燃料使用料	灯油	CO <sub>2</sub>	710	2,761	288.89%
	A重油	CO <sub>2</sub>	194,318	269,770	38.83%
	LPG	CO <sub>2</sub>	1,711	890	-47.99%
一般廃棄物焼却量	CH <sub>4</sub> N <sub>2</sub> O	96,083	106,838	11.19%	
一般廃棄物焼却量(1)	CO <sub>2</sub>	2,825,882	3,463,709	22.57%	
温室効果ガス排出量(CO <sub>2</sub> 換算)		3,893,769	4,771,982	22.55%	

1: ビニール・合成樹脂類

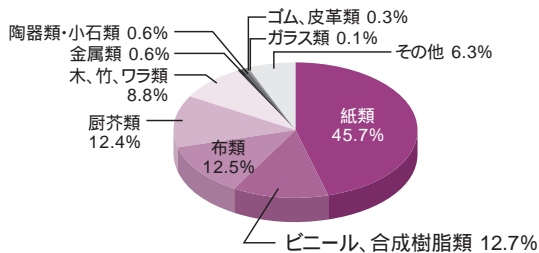
(表3) 平成19年度温室効果ガス排出状況(全体)

(単位: kg-CO<sub>2</sub>)

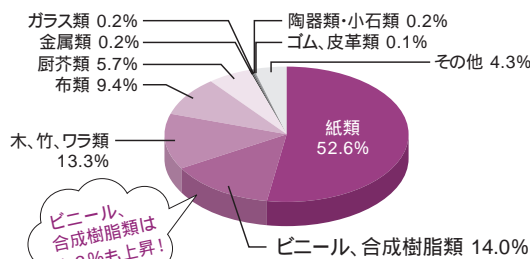
	温室効果ガス排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	基準年に対するの 削減割合
基準値(平成14年度)	5,868,493	
平成19年度実績	6,939,160	18.24%
目標(平成20年度)	5,692,438	-3.00%

このため、住民の皆様には日頃から、ごみの分別方法を理解していただくことが重要となってきます。プラスチック類は「プラスチック製包装容器」や「不燃ごみ」として分別し、「可燃ごみ」には絶対に混入させないように、ご協力をお願いします。

ごみ質組成分析



【平成14年度平均】



【平成19年度平均】

# 家庭でできる 10 の取組みを紹介!

~できることから始めてみよう~  
問 環境対策課②251

- 冷房の温度を1高く、暖房の温度を1低く設定する**  
カーテンを利用して太陽光の入射を調整したり、クールビズやウォームビズを取り入れることで、冷暖房機に頼らないで過ごせる。冷暖房を始める時期も少し待ってみる。  
年間約33kgのCO<sub>2</sub>の削減 年間で約1,800円の節約
- 週2日往復8kmの車の運転をやめる**  
通勤や買い物の際にバスや鉄道、自転車を利用しましょう。徒歩や自転車を使う方が健康にもいいですよ。  
年間約184kgのCO<sub>2</sub>の削減 年間で約9,200円の節約
- 1日5分のアイドリングストップを行う**  
駐車や長時間停車する時は、車のエンジンを切りましょう。大気汚染物質の排出削減にも寄与します。  
年間約39kgのCO<sub>2</sub>の削減 年間で約1,900円の節約
- 待機電力を50%削減する**  
主電源を切りましょう。長時間使わない時は、コンセントを抜きましょう。また、家電製品の買い替えの際には待機電力の少ないモノを選ぶようにしましょう。  
年間約60kgのCO<sub>2</sub>の削減 年間で約3,400円の節約
- シャワーを1日1分家族全員が減らす**  
身体を洗っているあいだ、お湯を流さばなしにしましょう。  
年間約69kgのCO<sub>2</sub>の削減 年間で約7,100円の節約
- 風呂の残り湯を洗濯に使いまわす**  
洗濯や庭の水やりの他、トイレの水に使っている人もいます。残り湯利用のために市販されているポンプを使うと便利です。  
年間約7kgのCO<sub>2</sub>の削減 年間で約4,200円の節約
- ジャーの保温を止める**  
ポットやジャーの保温は利用時間が長いと、多くの電気を消費します。ごはんは電子レンジで温め直すほうが電力の消費は少なくなります。  
年間約34kgのCO<sub>2</sub>の削減 年間で約1,900円の節約
- 家族が同じ部屋で団らんし、暖房と照明の利用を2割減らす**  
家族が別々の部屋で過ごす、暖房も照明も余計に消費します。  
年間約238kgのCO<sub>2</sub>の削減 年間で約10,400円の節約
- 買い物袋を持ち歩き、省包装の野菜を選ぶ**  
トレーやラップは家に帰れば、すぐゴミになってしまいます。買い物袋を持ち歩けばレジ袋を減らせます。  
年間約58kgのCO<sub>2</sub>の削減 資源節約
- テレビ番組を選び、1日1時間テレビ利用を減らす**  
見たい番組だけを選んでみる習慣をつけましょう。  
年間約14kgのCO<sub>2</sub>の削減 年間で約800円の節約

